

「平成31年度に実施した仕事」の振返りシート（A：裁量有）

記入日 令和2年6月29日

事業名称	予防事業費[先天性風しん症候群対策事業]								
予算科目	款 4	衛生費	項 1	保健衛生費	目 2	予防費	事業番号	1	
事業の種別	<input type="checkbox"/> 市単独 <input checked="" type="checkbox"/> 補助対象 <input type="checkbox"/> 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市上乗せあり)								
担当部署・課長名	健康 課				予防 係	課長名	志村 明子		
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。						施策番号	2-1		
【施策名】 保健・医療の充実						総合計画書 (ページ)	47		
1 この 仕 事 の 目 的	① 誰(何)を対象にしていますか。			① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)					
	19歳以上の市民で、 ・妊娠を希望している女性…① ・妊婦と同居する人 ・①と同居する人			① 新規抗体検査申請者数 ② MR予防接種申請者(自己抗体検査者)数 →					
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] 妊娠中の風しんの感染を防止するため、妊娠前に風しん抗体を保有する。			② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標) ① (抗体保有者+低抗体価による予防接種者)/抗体検査申込み者 ② MR予防接種実施者数/予防接種申請者(自己抗体検査者)数 →					
2 指 標 の 推 移	③ そのために何をしましたか。			③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)					
	① 抗体検査申請者への抗体検査(委託) ② ①で低抗体価だった方へのMR予防接種(委託) ③ 自分で受けた抗体検査で低抗体価だった方へのMR予防接種(委託)			① 抗体検査 受検者数 ② ①の内、MRワクチン接種者数 ③ 自分で受けた抗体検査で低抗体価だった方のMRワクチン接種者数 →					
	対象指標 ①の数値			件	① 60 ② 74	① 340 ② 89	平成31年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標
3 経 費	成果指標 ②の数値			%	① 100.0 ② 79.7	① 100.0 ② 91.0	平成31年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標
	目標			②の目標値	%		100		
	目標値設定の考え方 抗体が低く、予防接種が必要な方すべてが接種することにより十分な抗体をつける。								
活動指標 ③の数値			人	① 60 ② 32 ③ 59	① 340 ② 115 ③ 81	① 199 ② 2170 ③ 67			
事業費(実績)			円	1,338,312	4,072,697	2,974,861	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,310,000円 時間単価は、4,300円 で計算してください。 【算出根拠】平成30年度決算数値。 (退職手当組合負担金、共済費も含む。)		
財源 一般財源			円	546,200	373,327	604,770			
特定財源			円	792,112	3,699,370	2,370,091			
(うち受益者負担)			円	0	0	0			
人件費(再任用以外)			人	0.00	0.00	0.00			
所要人数(再任用)			人	0.0	0.0	0.0			
職員人件費(再任用以外)			円	165,060	403,200	412,800			
職員人件費(再任用)			円	0	0	0			
事業費+人件費			円	1,503,372	4,475,897	3,387,661			
4 環 境 変 化 等	(1) 開始年度		24 年度						
	(2) 環境の変化		平成24年度からの風しん流行、先天性風しん症候群の発生増加を背景に、妊婦への感染・先天性風しん症候群の発生を防止するために、緊急事業として実施した。平成25年夏以降、風しんの流行は減少し、沈静化していたが、平成30年7月以降、風しんの患者数の増加及び流行が見られたことにより、本事業の対象者を拡大した。また、国においても、抗体保有率の低い年齢層の男性を対象に抗体検査と定期予防接種を開始し、類似した事業となるが、国事業が優先される。						

事業名称	予防事業費[先天性風しん症候群対策事業]				
担当部署・課長名	健康	課	予防	係	課長名 志村 明子

5 市民等の意見	この仕事に関して、平成31年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について 特になし								
6 市民協働	<p>(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。（複数回答可）</p> <table border="1"> <tr> <td><input type="checkbox"/> 取り組んだ</td> <td>取組手法： 【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）</td> </tr> <tr> <td><input checked="" type="checkbox"/> 取り組まない</td> <td></td> </tr> </table> <p>(2)令和2年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点</p>					<input type="checkbox"/> 取り組んだ	取組手法： 【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）	<input checked="" type="checkbox"/> 取り組まない	
<input type="checkbox"/> 取り組んだ	取組手法： 【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）								
<input checked="" type="checkbox"/> 取り組まない									
7 課題	<p>(1)平成31年度に課題とした内容（「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート7課題(3)を転記） ・国の制度と本制度で、対象者の重複があることから、国や都の通知に留意し、内容を整理、委託先となる東大和医師会と円滑な実施に向けて調整等を図る。</p> <p>(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成31年度に実施したこと。 医師会（協力医療機関）に向けて、国の事業と本事業との変更点などについて説明会を実施した。 医療機関が現場で判断に迷う際には、電話で確認しながら事務をすすめた。</p> <p>(3)(2)を踏まえた今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案） 医療機関は本事業と国の事業との違いを把握してきたため、引き続き市民に対する周知が必要。</p>								
8 施策貢献状況	(この仕事は、総合計画（基本計画）に掲げる課題の解決手段になっているか。)								
	<p>施策名：保健・医療の充実</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> なっている <input type="checkbox"/> 環境の変化等により成果が減少している <input type="checkbox"/> 類似の事業が他にあり改善の余地がある（事業名： ）</p>								
9 今後の方向性	<p>(1)仕事の方向性（「7 課題(3)」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など） <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止</p> <p>【取組内容】 市報・HP等により、事業の広報。 新生児訪問等の機会を利用し、事業の周知。</p> <p>(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等 新生児訪問の保健師や委託助産師等への事業の説明。</p>								